

中心市街地の活性化に向けて
 ～ 55の基本計画の状況報告 ～

(中心市街地活性化基本計画の平成21年度フォローアップに関する報告)

平成22年6月29日
 内閣府地域活性化推進室

中心市街地活性化基本計画の推進状況に関して、54の市が55の基本計画のフォローアップ(自己評価)を平成21年度に実施した。
 取組の効果が現れているものと厳しい状況にあるものがあるが、各市が掲げる目標に向けて、全体的には概ね取組が着実に進捗し、効果が現れていると考えられる。
 ここではまちなかの活性化に向けた効果的な取組についても具体的な事例を交えて紹介する。

1. 中心市街地活性化基本計画のフォローアップについて

- (1) 中心市街地の活性化を図るために市町村が策定し、推進する「中心市街地活性化基本計画」(以下、「基本計画」という。)は、最初に認定が行われた平成19年2月以降、現在までに、97の市による100の基本計画が認定を受けている。
- (2) 認定を受けた基本計画については、市町村自ら取組(事業等)の進捗状況及び目標達成の見通し等をフォローアップ(自己評価)する仕組みであり、その頻度についても市町村が自ら決めている。
 これを受けて、平成21年度は54の市が55の基本計画についてフォローアップを行った。
- (3) 基本計画では、市町村が複数の目標を設定し、その達成度合いを評価するための指標(目標指標)について、それぞれ数値目標を設定している。
 今般、フォローアップが行われた55の基本計画では、合計182の目標指標が採用されている。

(参考例)

[目標]	[目標指標]	[数値目標] ＜平成24年度＞	(基準値) ＜平成19年度＞	(最新値)[実績数値] ＜平成21年度＞
賑わいあふれる 中心市街地	休日歩行者通行量	7,000人	5,000人	6,000人
	小売業年間商品販売額	16,000百万円	15,000百万円	14,500百万円
安心して生活し 続けられる中心市街地	居住人口	7,000人	6,500人	6,800人

(基準値については、3ページの参考欄を参照)

- (4) 内閣府としては、関係市からフォローアップ内容の報告を受け、その概要及び中心市街地の活性化に向けた効果的な取組等について、今般とりまとめを行った。

(参考) 各市によるフォローアップの内容は、各市及び当室のホームページにて公表。

(当室ホームページ：<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/chukatu/index.html>)

2. フォローアップ結果の概要

<概況>

- ・ 基本計画上の目標について、達成可能であると見込まれているものが全体としては多いが、小売業販売額、空き店舗に関する目標指標については、近年の経済低迷の状況等を背景として、このままでは達成可能と見込まれず、今後対策を講じる必要があるとしているものが比較的多い。
- ・ 実績数値を見ると、全体として半分程度が基本計画の策定時よりも上回り、全体の1割強が既に数値目標を上回っている。他方で、現状では取組が完了していないためにその効果が実績数値にまだ現れていないものも多い。
- ・ 今後とも基本計画の着実な推進と取組の実施状況や環境変化等に応じた対応や見直しが期待される。

注：基本計画の計画期間は概ね5年間程度であるところ、今回フォローアップ対象の55の計画のうち53が取組を開始してから3年未満であるため、取組が完了していない等により取組の効果がまだ現れていない目標指標が多いことに留意。

<目標達成の見通しについて>

(1) 各市がフォローアップを行った取組の進捗状況及び目標達成の見通しについて、目標指標の分類別に集計した。

まず、取組の進捗状況については、以下のとおりである。

〔取組の進捗状況〕

進捗が予定どおりであることが比較的多い取組は、施設入込数、公共交通機関の利用に関する目標指標に対する取組である。

進捗が一部予定どおりでないものが比較的多い取組は、通行量、居住人口、小売業販売額、空き店舗に関する目標指標に対する取組である。

(参考) 目標達成に関する見通しの分類(3ページ参照)のうち、進捗がほぼ予定どおりであるものは①と②、進捗が一部予定どおりでないものは③と④が、それぞれ相当する。

そして、取組の進捗状況を踏まえた目標達成の見通しについては、以下のとおりである。

〔目標達成の見通し〕

目標達成可能と見込まれているものが比較的多い目標指標は、施設入込数、公共交通機関の利用、通行量、居住人口に関する目標指標である。

このままでは、目標達成可能と見込まれず、今後対策を必要としているものが比較的多い目標指標は、小売業販売額、空き店舗に関する目標指標である。

(参考) 目標達成に関する見通しの分類(3ページ参照)のうち、目標達成可能と見込まれているものは①と③、このままでは、目標達成可能と見込まれず、今後対策を必要としているものは②と④が、それぞれ相当する。

＜目標達成に関する見通しの分類＞

- ①取組（事業等）の進捗状況が順調であり、目標達成可能であると見込まれる。
- ②取組の進捗状況は概ね予定通りだが、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。
- ③取組の進捗状況は予定通りではないものの、目標達成可能と見込まれ、引き続き最大限努力していく。
- ④取組の進捗に支障が生じているなど、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。
- ⑤取組が実施されていないため、今回は評価対象外。

目標達成の見通し（目標指標の分類別）

	全体	通行量	居住人口等	販売額等	空き店舗等	施設入込数等	公共交通機関利用	その他
①	65	18	9	1	5	19	4	9
②	28	9	4	3	6	2	2	2
③	57	24	12	7	2	7	2	3
④	13	4	5	2	1	1	0	0
⑤	19	1	3	10	0	2	0	3
計	182	56	33	23	14	31	8	17

（各市からの報告を基に内閣府で集計、各市からの報告内容は別添を参照）

- 【通行量】 歩行者、自転車の通行量等
- 【居住人口等】 居住人口、年間社会人口動態等
- 【販売額等】 小売業年間商品販売額、年間売上額等
- 【空き店舗等】 空き店舗率、空き店舗数等
- 【施設入込数等】 年間観光施設入込客数、文化施設・都市福祉施設の年間利用者数等
- 【公共交通機関利用】 路面電車乗車人数、鉄道駅乗降客数等
- 【その他】 就業人口、事業所数

取組が完了していない等により取組の効果がまだ現れていない目標指標が多く、取組の効果が反映されているものでは必ずしもないため、あくまで参考として、実績数値から見た目標達成に向けた現状を集計したところ、以下のとおりである。

【参考】 目標達成に向けた現状

実績数値が基準値（基準年の数値）（注）との比較で改善しているものが比較的に多い目標指標は、施設入込数、公共交通機関の利用に関する目標指標である。

悪化しているものが比較的に多い目標指標は、通行量、小売業販売額、空き店舗に関する目標指標である。

居住人口に関する目標指標は、改善しているものと悪化しているものがほぼ同じ程度存在する。

（注）基準値とは、市町村が基本計画の策定時において数値目標を設定した際に基準とした数値。市町村側として、策定時に直近で把握可能な数値を基準値、その基準値を計測した年を基準年として、採用している。

目標達成に向けた現状（目標指標の分類別）

	全体	通行量	居住人口等	販売額等	空き店舗等	施設入込数等	公共交通機関利用	その他
基準値より改善	81	21	18	3	5	19	6	9
（うち、数値目標を上回る）	（23）	（5）	（3）	（2）	（1）	（7）	（1）	（4）
基準値より悪化	84	34	14	10	9	10	2	5
評価対象外	17	1	1	10	0	2	0	3
計	182	56	33	23	14	31	8	17

（各市からの報告を基に内閣府で集計）

(2) 以上の状況について、その主な背景・理由としては、以下が考えられる。

① **施設入込数**、**居住人口**に関する目標指標については、まちなかでの住宅整備、公共公益施設や観光施設等の整備による取組の効果が現れている状況にある。

ただし、これらの取組の中で施設整備関係の事業については、近年の経済低迷の影響等で、施設整備等の計画に関する見直しや関係者の調整に時間を要する等により、進捗に遅れがある場合もある。

② **公共交通機関の利用**に関する目標指標については、利用促進に向けた整備や地域住民の協力を得た宣伝普及等による取組の効果が比較的現れている状況にある。

③ **小売業販売額**、**空き店舗**に関する目標指標については、近年の経済低迷の影響を受けて我が国全体で小売商業面では厳しい状況にあるため、取組自体の進捗に遅れが見られる、取組の効果が地域全体には十分に行き渡らない等、取組の効果がなかなか有効に現れていない状況にある。

④ **通行量**に関する目標指標については、他の目標指標に関する取組の効果全般の影響を受けるところ、特に③の目標指標に関する取組の効果の影響を受けることもあり、比較的厳しい状況にある。

(3) 今後、**施設入込数**、**居住人口**、**公共交通機関の利用**に関する目標指標については、取組の進捗により効果が現れ、実績数値の改善が期待できる。

小売業販売額、**空き店舗**、**通行量**に関する目標指標については、取組を強化・拡充したり（例：まちなかでの民間事業が誘発されるような事業の追加）、他の取組と併せてのまちなか全体での取組の相乗効果を高めたり（例：公共公益施設との連携）することにより、取組自体の効果や取組の波及効果が着実に確保されるような工夫が必要とされることが考えられる。

(4) 中心市街地の活性化に効果的な取組としては、①ハード面、ソフト面の一体的なコーディネート、②地域住民による主導・協働、横断的な連携、③環境変化への迅速な対応等が挙げられる。（後記5. 参照）

3. フォローアップ結果の活用について

基本計画の認定を受けた市町村は、今後とも状況の把握やフォローアップを行い、基本計画に記載された事項と中心市街地の現状や取組の実施状況等から判断し、必要と認められる場合には、速やかに基本計画の見直しを行うことが重要である。

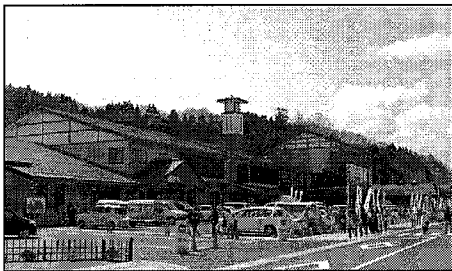
内閣府としても、市町村によるフォローアップ内容を注視し、市町村による基本計画の見直しに対しては、適切に対応していく。

4. 具体的な基本計画の状況（事例紹介）

（1）取組の効果が着実に現われ、活性化が好調な事例

【久慈市（岩手県）、豊後高田市（大分県）】

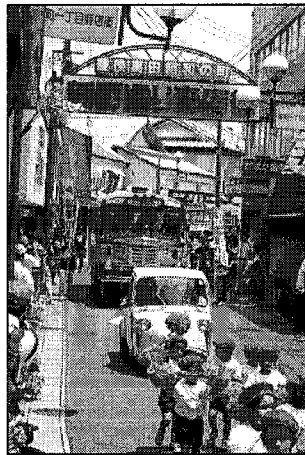
- ・人口規模、市街地範囲が比較的に小さい中で、商業と観光の一体的振興を基に中心市街地の活性化を図っている。
- ・賑わいの中核とする観光施設（近隣部ではオンリーワン）の集客効果が非常に高く、周辺部でのソフト面の取組（イベント等）とあいまって、周辺一帯での賑わいがもたらされている。
- ・市街地の範囲が比較的に狭いため、取組の効果の面的な波及がもたらされやすい状況にある。
- ・もたらされた賑わいを基に知名度が向上し、民間の観光ツアーに組み込まれるなどにより、広範囲な地域から持続的な集客が得られている。
- ・観光客と地域住民との交流を図ることにより活性化が地元へ根付くような取組がなされている。



賑わいの中核となった観光施設【久慈市】



観光施設の周辺で賑わう市【久慈市】

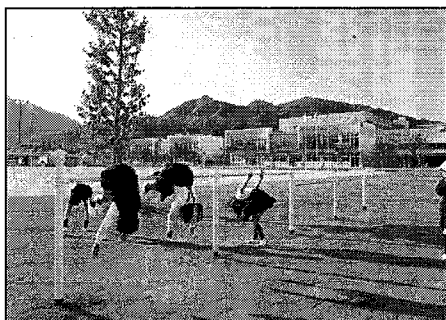


多くの観光客で賑わう昭和レトロ風のまちなか【豊後高田市】



【府中市（広島県）】

- ・人口規模、市街地範囲が比較的に小さい中で、生活環境の向上につながる小中学校、観光振興の中核となる観光施設をそれぞれ整備した。
- ・地域住民による活発な町おこしイベントや子育て応援等のソフト面の取組とあいまって、居住環境面と観光面とがバランスされた形で周辺一帯での賑わいがもたらされている。
- ・市街地範囲が比較的に狭いため、取組の効果の面的な波及がもたらされやすい状況にある。



新たに整備・開校した統合小中学校【府中市】

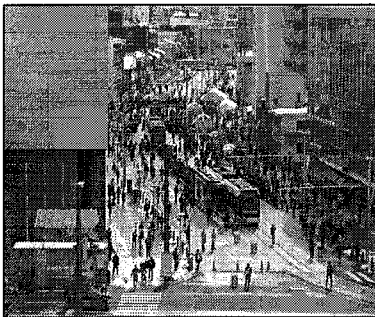


地域住民で新たに取り組む産直朝市【府中市】

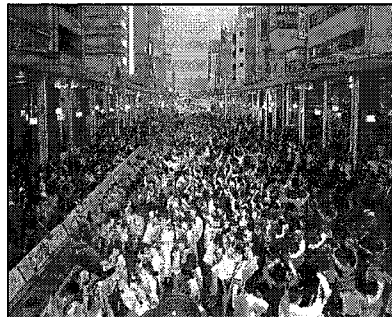
(2) 取組の効果が未だ十分に現われていないものの、今後の取組の進捗により活性化が期待できる事例

〔富山市（富山県）、青森市（青森県）、高松市（香川県）〕

- ・人口規模、市街地範囲が比較的に大きい中で、まちなかでの中核施設、商業環境、居住環境の整備等を通じて、周辺部の住民が市街地に集中するような「コンパクト・シティ」化を図っている。
- ・市街地範囲が比較的に広いため、取組の効果の面的な波及がもたらされづらい状況にある。
- ・富山市では、昨年12月の路面電車の環状線化により、公共交通機関の利便性向上、まちなかでの回遊性の促進を通じて、これまでの取組の効果の面的な波及が今後期待される。
- ・青森市では、来年1月の「ねぶた」を核とした文化観光交流施設開業が計画期間において最大の賑わい効果をもたらす取組であり、本年12月の青森新幹線開業とあいまって、これまでの取組の効果が発現する起爆剤となることが期待される。
- ・高松市では、商店街をはじめ地元関係者の努力により、土地の所有と利用の分離に基づく小規模連鎖型の先進的な再開発手法を実践している。また、空き店舗の活用促進の取組（若者向け情報発信施設、子供預かり施設等）やソフト面の取組（商店街のアーケード空間でのイベント等）も着実に進展させているところであり、取組効果の発現が期待される。



環状線化された路面電車でもちなかの回遊が便利に〔富山市〕



青森ねぶた祭〔青森市〕

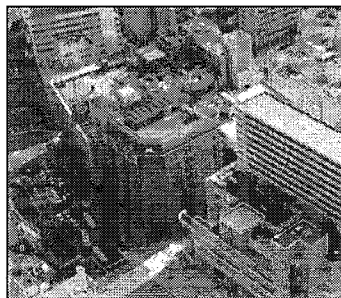


商店街でのファッションショー〔高松市〕

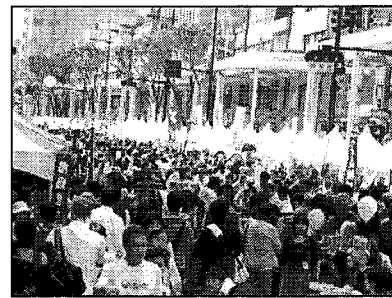
(3) 取組の効果が未だ十分に現われていないものの、新たな取組を追加して活性化に取り組んでいる事例

〔浜松市（静岡県）〕

- ・市では、まちなかの賑わいの中核として位置づけていた大規模商業施設を中心とする再開発事業について、核となる商業事業者の出店が経済低迷の影響を受けて取りやめとなったため、他の商業事業者の誘致を含む新たな再生計画の検討が進められている。
- ・このような状況の下、新規事業を追加し、市内唯一となった地元百貨店を核に、商業サービス及び市民への公共空間を一体的に提供するにぎわい拠点（モール）の整備を進めている。また、市、地元の企業、商店街関係者等が連携し、中核施設のみに頼らない周辺一帯の面的な再生に向けた取組が本年4月から開始されたところであり、今後、その進展に伴う効果が期待される。



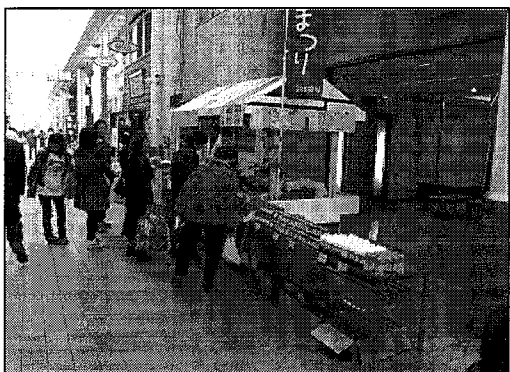
再開発が進まない百貨店跡地〔浜松市〕



まちなかでのイベントによるにぎわい〔浜松市〕

【八代市（熊本県）】

- ・人口規模、市街地範囲が比較的小さい中で、まちなかでの生活環境の整備を基に中心市街地の活性化を図っているが、市街地範囲が比較的狭いため、取組の効果の面的な波及がもたらされやすい状況にあるにもかかわらず、取組の効果が未だ十分に発現していない。
- ・これは、まちなかで集客力のあるテナントミックス施設（スーパー、子育て施設等で構成）が先行して整備されたものの、周辺商店街における取組が計画開始当初は比較的活発ではなかったためであると考えられる。
- ・しかしながら、最近では、新規出店を促進するため、安価で簡易に出店できるワゴンの貸出を行い、「チャレンジ屋台」として商店街の担い手を即効的な視点（起業家等）と長期的な視点（高校生等）の双方で育成するユニークな取組も商店街関係者が行うようになり、ハード整備を契機として地元発意のソフト面での取組が誘発されている状況にあり、今後の取組の進展及び効果の発現が期待される。



気軽に新規開業、出店できる「チャレンジ屋台」【八代市】



商店街内の広場でのイベント開催【八代市】

5. 中心市街地の活性化に効果的な取組

「4.」の事例をはじめとする今回の55の基本計画のフォローアップ内容からは、今後の取組の参考材料となる中心市街地の活性化に効果的な取組として、以下が挙げられる。

①ハード面、ソフト面の一体的なコーディネート

施設等のハード整備のみならず、それを活かすソフト面での取組と有効につなげて相乗効果を出している場合は、周辺に良い波及効果をもたらし、まちなか全体で生きる。ハード整備を契機に、まちなか全体でどのように活かすかを考える。

【例】久慈市（岩手県）、豊後高田市（大分県）

（注意すべきこと）施設等の整備・運営のみにとどまる場合は、まちなか全体への波及効果は一過性に過ぎず、効果の持続可能性にも影響を与える。

②地域住民による主導・協働

地域住民（住民、NPO、商店街等）が主導し、協働して推進する取組こそが、当該地域の活性化を持続可能性ある形で支える。特に大学生以下の若者や子供を参加させた取組は、定住やUターンにつながるような郷土愛を涵養し、地域の将来を担う意識を高めるとともに、多世代交流が図られ、住民意識の活性化にも効果が高いものと思われる。まちなかの関係者が協働して、アイデア豊かに主体的に取組を推進すること、そして市町村側もこれを上手に側面支援することが大切である。

【例】神戸市〔新長田地区〕（兵庫県）、別府市（大分県）

（注意すべきこと）基本計画の推進主体は、一義的には市町村や中心市街地活性化協議会になるが、行政側のみが取組を実質的に推進していたり、地域住民は行政任せであったりするような状況に陥るのは、好ましくない。

③地域での横断的な連携・コーディネートの実質的な確保

まちづくりは分野横断的で総合的な取組であり、優れたコーディネータまたはコーディネート組織の下で、各分野での取組、取組を担う関係者を実質的に連携させ、相乗効果をもたらされるように誘導していくことにより、効果が高く発現される。

【例】府中市（広島県）、高松市（香川県）

（注意すべきこと）市町村側では施策分野別（都市計画、産業・観光、医療福祉等）の担当部局間、民間側では関係者間（同業種または業種別の団体・事業者、NPO、住民等）の十分な連携がなく、実質的にバラバラに取組が進められる場合は、地域で行われる様々な取組の全体としての最適化が図られず、個々の取組の効果も限定的なものとなる。特にリーダーシップや合意形成能力に優れたコーディネータ、コーディネート組織が存在しない場合にはこのような状況に陥ることが多い。

④環境変化への迅速な対応

大規模商業店舗の撤退等、まちなかをめぐる環境変化に対しては、早期に関係者が危機感を共有し、協働して、必要な対応策を実践することが、負の連鎖をくいとどめることにつながる。

【例】山口市（山口県）、鹿児島市（鹿児島県）

（注意すべきこと）まちなかをめぐる環境変化に対しては、有効な対応策の検討に時間を要する部分はあるものの、可能な限り早期に対応策の策定、そのための合意形成を行い、実践しなければ、ますます悪化した状況からの回復を目指すこととなり、対応策の効果も小さいものとなる。

目標達成の見通しに関する各市からの報告内容(平成21年度)

【市町村による評価】

- ①取組(事業等)の進捗状況が順調であり、目標達成可能であると見込まれる。
 ②取組の進捗状況は概ね予定通りだが、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。
 ③取組の進捗状況は予定通りではないものの、目標達成可能と見込まれ、引き続き最大限努力していく。
 ④取組の進捗に支障が生じているなど、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。
 ⑤取組が実施されていないため、今回は評価対象外。

都道府県名	市町村名	目標	目標指標	目標達成の見通し
平成19年2月8日認定(認定時から3年2月経過)				
富山県	富山市	公共交通の活性化により車に頼らずに暮らせる中心市街地の形成	路面電車市内線一日平均乗車人数	②
		魅力と活力を創出する富山市の「顔」にふさわしい中心市街地の形成	中心商業地区の歩行者通行量(日曜日)	平成23年度最終報告
		魅力ある都心ライフが楽しめる中心市街地の形成	中心市街地の居住人口	平成23年度最終報告
青森県	青森市	街の楽しみづくり	歩行者通行量	②
		交流街づくり	年間観光施設入込客数	①
		街ぐらし	中心市街地夜間人口	①
		商業の活性化	空き地・空き店舗率	②
		小売業年間商品販売額	②	
平成19年5月28日認定(認定時から2年11月経過)				
岩手県	久慈市	「風の館」「土の館」との連携による山・里・海を愉しめる中心市街地全体の賑わいの創出	商品販売額	①
		安心・快適な生活空間づくり	歩行者・自転車通行量	①
		誰もが暮らしやすい中心市街地	中心市街地定住人口に係る社会増減数	③
石川県	金沢市	誰もが暮らしやすい中心市街地	中心市街地の人口の年間社会動態	①
		にぎわいと交流が生まれる中心市街地	主要商業地の休日の歩行者・自転車通行量	①
		過度に自動車に依存しない中心市街地	JR金沢駅の年間定期外乗車人員	①
			金沢ふらっとバスの乗車人員	①
岐阜県	岐阜市	まちなか居住の推進	居住人口	①
		商業の活性化の増進	小売業年間商品販売額	平成22年度フォローアップ予定
			空き店舗数	①
		にぎわいの創出	歩行者・自転車通行量	①
広島県	府中市	賑わいの創出による市民や来街者が集い交流する魅力ある中心市街地の形成	歩行者・自転車通行量	③
			商業集積地域の商店の数	①
		安心して便利に歩いて暮らせる中心市街地の形成	商業集積地域の商店の質	①
			人口動態(社会動態)	③
山口県	山口市	自然と文化に彩られた人々を惹きつける魅力ある中心市街地の形成	商店街通行量(休日)	②
		自然と文化に彩られた人々を惹きつける魅力ある中心市街地の形成	小売業年間商品販売額	②
		自然と文化に彩られた誰もが住みたくするような中心市街地の形成	居住人口	①
香川県	高松市	テナントミックス等による、商業・サービスの魅力強化と効果の波及	空き店舗率	③
		来街者の回遊促進	年間商品販売額	③
		魅力的な住宅の供給による、居住促進	歩行者通行量(自転車を含む)(休日)	③
			定住人口	③
熊本県	熊本市	人々が活発に交流しにぎわうまちづくり	中心市街地の商店街歩行者・自転車通行量	④
		城下町の魅力があふれるまちづくり	熊本城年間入園者数	①
		誰もが気軽に訪れることができるまちづくり	市電の年間利用者数	①
熊本県	八代市	中心市街地の賑わいを取り戻す	歩行者・自転車通行量の増加	②
		街なか居住の促進	中心市街地内の居住人口の増加	②
		中心商店街の活性化	中心商店街の売上額の増加	②
大分県	豊後高田市	いと楽しく懐かしいおまち一進化一	豊後高田昭和の町の年間観光入り込み客数	①
			豊後高田昭和の町の観光客滞在時間(2時間を超える個人の割合)	①
		高齢者が楽しいおまち一創造一	玉津地区「豊後高田昭和の町」高齢者交流施設入込客数	平成22年度フォローアップ予定
長野県	長野市	訪れたいなるまち	善光寺仁王門前の歩行者・自転車通行量	①
		住みたいなるまち	中心市街地(36町丁)の居住人口	④
		歩きたいなるまち	中心市街地(15地点)の歩行者・自転車通行量	②
		参加したいなるまち	もんぜんぶら度と生涯学習センターの年間利用者数	①
宮崎県	宮崎市	市民活動・文化活動を通じた多世代交流によるにぎわい創出	歩行者通行量	③
		個性や魅力にあふれ人が住まい・集うまちづくり	夜間人口	③
		様々な目的の人が満足できる楽しめる商業を核とした空間の形成	昼間人口	平成23年度フォローアップ予定
平成19年8月27日認定(認定時から2年8月経過)				
北海道	帯広市	街なか居住の促進による、居住人口の増を回り地域コミュニティ再生	街なか居住者数	③
		大型空き店舗再生、商店街の魅力的空間づくりによる、賑わいの創出、来街者・歩行者の増	歩行者通行量	③
		芸術・文化活動の活動拠点をつなぐ機能整備による、各活動拠点施設利用者の増	活動拠点施設の利用率	①
北海道	砂川市	賑わいの創出	まちなか平日通行量	③
		まちなか居住の促進	まちなか居住人口	③
		商店街活性化	小売業年間商品販売額	③
千葉県	千葉市	経済活力に満ちたまち	年間小売販売額	③
		文化が薫り都心の魅力があふれるまち	文化施設・都市福祉施設等の年間利用者数	①
		多彩な交流と出会いを育む賑わいのあるまち	歩行者通行量(休日)	①
静岡県	浜松市	魅力ある商業空間の形成	小売販売額	④
			歩行者通行量	④
		洗練された都心生活空間の形成	居住人口	③
		創業都市・浜松にふさわしい業務機能の集積	就業人口	①
和歌山県	和歌山市	城まち賑わい拠点の創出	中心商業地(ふらくり下周辺地域)7地点の歩行者・自転車通行量(平日・休日平均)	②
		城まち居住の促進	中心市街地の居住人口	④
			中心市街地の居住人口	④
		城まち回遊性の向上	城まちハッピーロードの歩行者・自転車通行量(休日)	②

都道府県名	市町村名	目標	目標指標	目標達成の見通し
平成19年11月30日認定(認定時から2年6月経過)				
青森県	三沢市	国際色を愉しめる賑わいあふれる中心市街地	休日歩行者通行量	③
			小売業年間商品販売額	③
		安心して生活し続けられる中心市街地	居住人口	⑤
富山県	高岡市	歴史・文化資産の活用によるまちなか交流人口の拡大	主要観光施設における観光客入込み数	①
		まちなか居住の推進	中心市街地における居住人口	④
		中心商店街の賑わいの創出	中心商店街(6地点)における平日・休日の歩行者・自転車通行量の平均値	③
			中心商店街(4商店街)における空き店舗数	①
福井県	福井市	訪れやすい環境をつくる	公共交通機関乗車数(鉄道1日平均)	③
		居住する人を増やす	居住人口	④
		歩いてみたくなる魅力を高める	歩行者・自転車通行量(休日)	③
福井県	越前市	住みよく、多様な住まい方ができる中心市街地	居住人口	②
		多様な主体の活動と交流による“にぎわう”中心市街地	休日の歩行者数	①
鳥取県	鳥取市	住みたいまち	居住人口	②
			歩行者通行量(鳥取駅周辺地区)	③
		行きたいまち	歩行者通行量(鳥取城跡周辺地区)	①
			空き店舗数	②
		ふるさとを感じるまち	文化施設の入込み客数	②
平成19年12月25日(認定時から認定2年4月経過)				
鹿児島県	鹿児島市	まちなかのにぎわい創出と回遊性の向上	歩行者通行量(20地点、土日)	③
		九州新幹線の開業効果を生かした観光の振興	中心市街地の年間入込観光客数	①
		南九州随一の中心市街地の商店街活性化	小売業年間商品販売額	平成22年度フォローアップ予定
平成20年3月12日認定(認定時から2年1月経過)				
北海道	滝川市	街なか居住推進	街なか居住人口	①
		市民活動の活性化	コミュニティ施設等利用者数	①
		賑わい創出	歩行者・自転車通行量	①
			空き店舗数	②
新潟県	新潟市	賑わい・交流の促進「たくさんの人で賑わい、交流が生まれる中心市街地の形成」	歩行者通行量	③
		まちなか居住の促進「みなとまちの歴史が薫る、人に優しく、暮らしやすくなる中心市街地の形成」	居住人口	③
		都市型雇用の創出「たくさんの人が働き、良質なサービスを提供する中心市街地の形成」	第3次産業従業者数	平成22年度フォローアップ予定
静岡県	藤枝市	人々が集い、快適・満足に、はつらつとすごせるまち	歩行者通行量	③
		結びつきに支えられ、健やかに暮らせるまち	宿泊客数	③
			公共施設利用者数	①
兵庫県	宝塚市	文化・芸術ともてなしの心あふれる「訪れてみたい」まち	中心市街地の主な集客施設の集客数	④
		商業・サービスが充実した「暮らしやすい」コンパクトなまち	小売業年間販売額	③
		商業・サービスが充実した「暮らしやすい」コンパクトなまち	駅前商業施設の空き店舗率	④
		市民自らがいきいきと活動できるまち	NPOが実施する事業の数	③
福岡県	久留米市	市民活動による賑わいのある街	休日歩行者通行量	④
		多様なサービスが受けられる利便性高い街	空き店舗率	②
		便利な生活環境のもとで住み続けたい街	サービス・飲食業のシェア	②
			居住人口	③
宮崎県	日向市	人が集い、人がふれあう、活気に満ちた生活文化交流空間づくり	歩行者・自転車通行量	①
		誰もが安心して暮らせる、便利でコンパクトなまちづくり	活性化区域内の居住人口	①
		市民協働による持続可能なまちづくり	市民の企画によるイベント回数	①
奈良県	奈良市	訪れたいまち	文化・観光施設の年間入込客数(中心市街地主要7施設)	③
		歩きたくなるまち	歩行者・自転車通行量(休日)	③
		活力のあるまち	小売業年間商品販売額	平成23年度フォローアップ予定
平成20年7月9日認定(認定時から1年9月経過)				
北海道	小樽市	回遊性を高めることによる、まちなかのにぎわい創出	中心市街地の歩行者通行量	②
		居住環境の整備等による、まちなか居住の促進	中心市街地の居住人口	①
		宿泊滞在型観光への転換による、まちなかでの宿泊の促進	中心市街地の宿泊客数	①
青森県	弘前市	歩いて出かけたくなる賑わいのあるまち	歩行者・自転車通行量(平日と休日の平均)	③
			中心商店街空き店舗率	①
		歴史・文化と触れあえる観光のまち	中心市街地観光施設等入場者数	②
岩手県	盛岡市	賑わいあふれる中心市街地	中心市街地の小売業年間販売額	③
		訪れたい中心市街地	中心市街地の歩行者・自転車通行量	③
			盛岡市街の観光客入込数	①
秋田県	秋田市	訪れる人による賑わいづくり	歩行者・自転車通行量(休日)	③
		住む人による賑わいづくり	定住人口	⑤
		商店街の活力による賑わいづくり	小売業年間商品販売額	平成22年度フォローアップ予定
			空き店舗数	①
山形県	鶴岡市	交流の拡大	主要観光施設年間観光入込み客数	③
		中心商店街の活性化	自転車歩行者通行量(休日)	③
			空店舗数	③
		街なか居住の環境づくり	健康・子育て・福祉施設利用者数	③

都道府県名	市町村名	目標	目標指標	目標達成の見通し
福井県	大野市	まちなか観光による交流人口の増加	関連施設の年間入込み客数(中心市街地主要5施設)	①
		商店街を中心としたまちなか生活の充実	1日当たりの歩行者通行量(休日6地点)	①
岐阜県	中津川市	自らが誇れるまちの創出	観光客入り込数	①
		快適に暮らすことのできる市街地の形成	中心市街地居住人口	④
		商業活性化の推進	中心市街地歩行者数	①
愛知県	豊田市	活力とにぎわいの創出	平日の歩行者通行量	③
		公共交通と自動車交通が調和した交通体系の実現	鉄道駅1日乗降客数	①
		環境に配慮したまちづくりの実践	エコシール年間受取枚数	①
滋賀県	大津市	駅・港を結ぶ動線リニューアルによるにぎわいの創出	休日の歩行者・自転車通行量	③
		琵琶湖湖岸・港における集客・交流機能の強化	琵琶湖観光客入り込数	①
兵庫県	神戸市 (新長田地区)	ものづくりのまち・長田の再生	事業所数	平成22年度フォローアップ予定
		賑わいのある商業空間づくり	年間小売販売額	平成22年度フォローアップ予定
兵庫県	尼崎市	個性的な集客拠点づくり	休日歩行者通行量	①
		商業活性化の推進による魅力あふれる中心市街地の形成	小売業年間販売額	③
兵庫県	伊丹市	「ものづくりのまち・尼崎」の産業活力を育む中心市街地の形成	サービス業等事業所数	②
		地域資源を活かしたにぎわいあふれる中心市街地の形成	休日の歩行者通行量	①
		暮らしやすく、集い学べる郷町(まち)なか	文化施設の利用者数	①
兵庫県	伊丹市	歩いて楽しい郷町(まち)なか	歩行者・自転車通行量(休日5ポイント)	①
		暮らしやすく、集い学べる郷町(まち)なか	まちづくりサポーター制度登録者数	①
		活気あふれる郷町(まち)なか	空き店舗数	②
島根県	松江市	観光・交流	中心市街地内の観光入込客数	①
		近隣集客拠点	通行量(歩行者及び自転車)	①
		まちなか居住	中心市街地内の人口	②
愛媛県	西条市	賑わいと回遊性の向上	歩行者・自転車通行量(休日)	①
		まちなか居住の推進	居住人口	①
高知県	四万十市	賑わいと回遊性のあるまちづくり	歩行者・自転車通行量(平日・休日の平均値)	③
		安心・安全 住みやすいまちづくり	観光入込み客の宿泊客数	③
		商店街の再生による魅力あるまちづくり	まちなか居住人口	③
			小売業年間商品販売額	④
福岡県	北九州市 (小倉地区)	広域商業拠点の賑わいの向上	商店街エリアを中心とした歩行者通行量	③
		文化的で非日常的な都心の魅力向上	既存の主要大型商業施設の年間来店者数	③
		昼間人口の拡大による活力向上	主要な歴史・文化・コンベンション施設の年間来場者数	③
福岡県	北九州市 (黒崎地区)	来街者で賑わうまち(集客と回遊性の強化)	中心市街地における歩行者通行量	③
		住みたい・住み続けたいまち(定住人口の増進)	中心市街地内の居住人口	①
		経済活力のあるまち(商業の活性化)	中心市街地の小売業年間商品販売額	平成22年度フォローアップ予定
長崎県	諫早市	商業の魅力向上と賑わいの創出により、来たるまちづくりを進める	中心商店街ゾーンの空き店舗率	①
		交通体系の整備により、広域からも来やすいまちづくりを進める	アエル中央商店街の休日歩行者通行量	③
		心地良い街並みの形成と都市機能の充実により、住みたくなるまちづくりを進める	島原鉄道本諫早駅乗降客数	③
大分県	大分市	こだわりに出会える価値観の高い商業の再生	居住人口	③
		安心・安全に回遊できるひと中心のまち創出	小売業年間商品販売額	平成22年度フォローアップ予定
		街なかで過ごすライフスタイルを提案するまち創出	歩行者通行量	②
大分県	別府市	まちなかの賑わい創出	まちなか滞留時間(3時間以上の割合)	①
		まちなか観光の活性化	歩行者通行量	③
		まちなか商業の活性化	観光宿泊客数	①
青森県	八戸市	来街者を増やす	小売業年間販売額	平成22年度フォローアップ予定
		定住を促進する	歩行者通行量	④
長野県	飯田市	人々の交流によるにぎわいの回復	居住人口	③
		環境に配慮し安心安全な暮らしの実現	歩行者・自転車通行量	①
			都市福祉施設利用者数	①
平成20年11月11日認定(認定時から1年5月経過)				
群馬県	高崎市	高崎市都市圏の地域活性化を牽引する、経済活力に満ちたまち	小売業年間商品販売額	平成23年度フォローアップ予定
		市民の出会いと交流の舞台となる、賑わいあふれるまち	歩行者・自転車通行量(休日)	①
		音楽を中心とした“高崎文化”を創造・発信するまち	各種文化施設の利用者数の合計値	平成23年度フォローアップ予定
愛媛県	松山市	街なかの賑わい創出	中央商店街の歩行者通行量(休日)	②
			路面電車の年間乗車人数	②
		街なかの観光交流人口増	中心市街地内の観光客数(市有5施設)	①
		街なかの商業活性化	小売業年間商品販売額	平成22年度フォローアップ予定

・他都市の状況

認定日	市町村名	居住人口 (人)					歩行者通行量 (人)				
		基準値	現状値	目標数値	前年度比	達成率	基準値	現状値	目標数値	前年度比	達成率
平成19年5月28日	長野市(長野県)	9,600	9,863	10,900	↗	90.5%	263,903	223,536	320,000	↗	69.9%
平成19年2月8日	富山市(富山県)	24,099	—	26,500	—	—	24,932	—	32,000	—	—
平成19年2月8日	青森市(青森県)	3,346	3,599	3,868	↘	93.0%	59,090	48,562	76,000	↘	63.9%
平成19年5月28日	久慈市(岩手県)	人口動態 -130	-22	10	—	77.1%	3,871	4,284	5,050	↗	84.8%
平成19年5月28日	金沢市(石川県)	人口動態 -462	88	プラスに	—	—	73,292	68,852	80,000	↗	86.1%
平成19年5月28日	岐阜市(岐阜県)	10,766	11,284	11,600	—	97.3%	80,866	78,134	84,000	—	93.0%
平成19年5月28日	府中市(広島県)	人口動態 -49	-18	プラスに	—	64.0%	4,284	5,844	5,600	—	104.4%
平成19年5月28日	山口市(山口県)	3,968	4,249	4,200	↗	101.2%	54,252	43,829	56,000	↘	78.3%
平成19年5月28日	高松市(香川県)	20,385	20,637	21,700	↗	95.1%	119,844	119,074	150,000	↗	79.4%
平成19年5月28日	熊本市(熊本県)	—	—	—	—	—	309,381	292,753	340,000	—	86.1%
平成19年5月28日	八代市(熊本県)	7,687	7,407	8,000	↘	92.6%	15,053	14,025	16,600	→	84.5%
平成19年5月28日	宮崎市(宮崎県)	7,575	8,270	8,025	↗	103.1%	59,219	66,580	84,600	↗	78.7%
平成19年8月27日	帯広市(北海道)	2,892	2,804	3,650	↘	76.8%	14,367	10,857	19,000	↘	57.1%
平成19年8月27日	砂川市(北海道)	6,052	5,962	6,200	↘	96.2%	3,633	3,228	4,400	↘	73.4%
平成19年8月27日	浜松市(静岡県)	5,891	6,516	7,800	→	83.5%	102,489	98,975	142,500	↗	69.5%
平成19年8月27日	和歌山市(和歌山県)	11,268	11,017	11,680	↘	94.3%	22,075	19,613	26,500	↗	74.0%